

## 三菱自動車、新型『トライトン』/『L200』を世界初披露 ～ 11月17日（土）よりタイで発売、世界約150ヶ国に順次展開 ～

---

三菱自動車は、本年生誕40周年を迎えた1トンピックアップトラックの新型『トライトン』/『L200』を11月9日（金）にタイ・バンコクで世界初披露し、17日（土）より販売を開始します。

新型『トライトン』/『L200』は、タイにおける生産・販売会社ミツビシ・モーターズ・タイランド（以下、MMTh）のレムチャバン工場で生産します。タイをはじめとするアセアン、オセアニア、中東、欧州、アフリカ、中南米などに順次展開し、最終的には約150ヶ国で販売する計画の世界戦略車です。

今回の世界初披露に先立ち益子修 CEO は「三菱自動車にとって『トライトン』/『L200』は極めて重要な世界戦略車の一つであり、当社の持続的成長には今回投入する車の成功が不可欠です。今回の改良では、初代から40年間で培った耐久性、信頼性及び快適性にさらに磨きをかけるとともに、デザインを力強く堅牢なものに一新しました。新型トライトンは世界中のお客様の多様なご要望にお応えできると確信しています」と述べました。



### 1. 商品概要

新型『トライトン』/『L200』では、「究極のスポーツ・ユーティリティ・トラック」というコンセプトと歴代モデルでの開発思想である“Engineered Beyond Tough”のもと、新世代の「ダイナミックシールド」フロントデザインコンセプトを採用した力強いデザイン、オフロードでの走破性を向上させた4WDシステム、先進の予防安全・運転支援技術の採用など、大幅に商品力を高め、ビジネスユースにおける耐久性・信頼性に加え、プライベートユースにおける快適性や乗り心地にいっそう磨きをかけました。

### (1) “Engineered Beyond Tough”を体現する力強いデザイン

新型『トライトン』/『L200』では、内外観とも“Engineered Beyond Tough”、すなわち技術に裏付けられた真のタフさを体現するために“Rock Solid”というコンセプトのもと、デザインを一新しました。

- フロントビュー  
フロントフェイスは新世代の「ダイナミックシールド」デザインコンセプトを採用。高いボンネットフードで厚みを持たせランプ類を高い位置に配置したことで、力強く堂々としたフロントフェイスに一新しました。
- サイド&リヤビュー  
サイドのボディからつながる艶やかなボディ曲面と、ホイールフレアのシャープなラインとフラットな面のコントラストにより、三菱らしいトラックの力強さとモダンさを表現しています。また、ボディサイド全体の厚みを増やし、安定感を加えました。
- インテリア  
インパネ全体のウイング形状を継承しつつ、センターパネルはソリッドかつクリーンな造形のフレームで操作パネルとアウトレットを囲み、モダンさと剛性感を表現。フロアコンソール、アームレスト、パーキングブレーキなど人が触れる部分には、ソフトパッドとステッチを入れて心地よい上質な空間としました。

### (2) 悪路での走破性をいっそう高めた 4WD システム

新型『トライトン』/『L200』では、あらゆる路面状況で最適なトラクション性能とハンドリング性能を実現するスーパーセレクト 4WD-II 搭載車と、路面状況に応じて走行モードの切り替えが容易なイージーセレクト 4WD 搭載車をラインアップ。いずれも新走行モードにより悪路走破性を向上させています。

- 4WD システムに「オフロードモード」を採用  
スーパーセレクト 4WD-II 搭載車、イージーセレクト 4WD 搭載車ともに、新たに「オフロードモード」を採用。「GRAVEL (未舗装路)」「MUD/SNOW (泥道/新雪)」「SAND (砂地)」「ROCK (岩場、走行モードが 4LLc 時のみ)」の 4 モードを設定しています。「オフロードモード」では、エンジン、トランスミッション、ブレーキを統合制御することでタイヤのスリップ量をコントロールし、悪路での走破性・脱出性を最大限に高めます。
- 「ヒルディセントコントロール」を採用  
急な坂道や滑りやすい路面を下る際、電子制御により低車速に抑えて安心・安全に走行することができる「ヒルディセントコントロール」を採用しています。

### (3) 安心・安全を提供する先進の予防安全・運転支援技術

新型『トライトン』/『L200』では、耐久性・信頼性に優れるラダーフレームと高い衝突安全性を誇るキャビンで踏襲しながら、1 トンピックアップトラックのセグメントをリードする先進の予防安全・運転支援技術を採用しています。

- 前方車両だけでなく歩行者の検知も可能とした衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]、ドアミラー表示や警告音で車線変更時に起こりやすい接触事故を回避する後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA]、同じく後退時に起こりやすい接触事故を回避する後退時車両検知警報システム [RCTA]、駐車場などでの発進時の誤操作を防止する誤発進抑制機能 (前進&後退時) [UMS]など、全方位の予防安全機能により、安心・安全を提供します。
- 自車の周囲を俯瞰した映像表示により安心して入庫できるマルチアラウンドモニターやパーキングセンサーなど、便利な運転支援機能も採用しています。

### (4) ピックアップトラックに求められる性能・機能

新型『トライトン』/『L200』では、“Engineered Beyond Tough”という開発思想のもと、ビジネスユースにおける耐久性・信頼性とプライベートユースにおける快適性と乗り心地を高めるべく、細部にわたり改良を施しています。

- フロントブレーキのディスクとキャリパーピストンを大型化したことで、制動性能とフィーリング

を向上させました。

- リヤサスペンションのダンパーを大型化し、オイル流量をアップしたことで、乗り心地を向上させました。
- オートマチックトランスミッションは5速から6速に変更することで、より滑らかで力強い加速性能とし、静粛性も向上させています。

## 2. 展開計画

新型『トライトン』/『L200』は11月17日（土）よりタイで販売を開始し、アセアン、オセアニア、中東、欧州、アフリカ、中南米など約150ヶ国に順次展開する計画です。

今年度は新型モデルと現行モデルの合計で約18万台の販売を計画しています。昨年度のグローバルでの販売台数では、三菱自動車の商品ラインアップにおいて『アウトランダー』に次ぐ約16万台の実績を誇り、重要な世界戦略車の1つです。

以上